

3 公務員倫理の徹底

職員の法令遵守意識と危機意識の醸成・強化のための総合的かつ実効性のある取組を継続し、県民の信頼と期待に応えられる組織の確立が必要

3. 第2回県教委交渉（11月6日（木）・18日（火））

福島高教組は、11月6日（木）と18日（火）の両日、県人事委員会報告・勧告の取扱いを含めた教職員の待遇等の改善に関する県教委交渉を行いました。交渉にあたり福島高教組は、教育環境改善、教職員の生活を維持・改善できる給与水準の確保等、要望を行いました。

提示および確定交渉では、福島高教組から小桧山淳執行委員長をはじめ下記の通り出席、県教委から政策監をはじめ20名を超えての対応でした。

《提示交渉》

小桧山 淳
由田 桂一

駒木根 優宏
鈴木 知洋

原田 大輔

佐川 博文

《確定交渉》

小桧山 淳
駒木根 優宏

佐瀬 善美
大槻 成志

福島 健一

原田 大輔

2、身分と権利の確立をはかる運動

I 2025年度人事への取り組み

2025年度人事異動期にあたり、福島高教組は、本部と支部において、次のような人事に関する運動を展開

1. 本部の取り組み

(1) 「2025年度人事に関する希望調査」を実施

不当人事を排除し、組合員のキャリアプランに基づく異動を推進するため、人事に関する希望調査を全組合員対象に実施するとともに、各分会、支部に人事対策委員会の設置を指示しました。

(2) 第1回支部長会の開催（11月）

Teams Meetingによるリモート開催において、第1回支部長会を開催しました。会議では、人事対策の基本方針を確認した後、組合員の人事希望個票を集約した調査一覧に基づき、通勤事情などを含めた個別の異動希望状況について確認を行いました。最後に、組合員の希望実現のため、県教委と県高等学校長協会専門部会長及び支部長への要請行動実施を申し合わせました。

(3) 県高等学校長協会に対する人事異動要請を実施

福島高教組は、県高等学校長協会の各部会長に対し、組合員より提出された異動希望一覧表を持参し、組合員のキャリアプランに基づく異動の実現等に努力するよう要請しました。要請には小桧山淳執行委員長（会津西陵）が赴きました。

- 普通部会長（丹野 純一 校長・福島）
- 工業部会長（長南 国彦 校長・福島工業）
- 農業部会長（鈴木 憲治 校長・福島明成）
- 商業部会長（酒井 祐治 校長・福島商業）

(4) 「人事異動等の勤務条件に関する要望書」を県教委へ提出（12月）

福島高教組は、県教委に対して「人事異動等の勤務条件に関する要望書」を提出し、組合員のキャリアプランに基づく異動の実現と勤務条件等の整備に努力するよう要請しました。

(5) 人事異動に関する県教委要請を実施（12月）

福島高教組は、福島市「県庁」において、2025年度人事異動に関する県教委要請を実施しました。福島高教組から、小桧山淳執行委員長を下記の通り出席し、県教委からは、高校教育課、特別支援教育課が対応しました。

小桧山 淳
大槻 成志

佐瀬善美
原田大輔

鈴木知洋

羽根真実子 福島健一 佐川博文

2. 支部の取り組み

(1) 支部による地区校長会に対する要請

11月下旬から各支部において、支部長を中心に、組合員より提出された異動希望一覧を踏まえ、県校長協会支部長に対する要請行動を行いました。

県北支部 <齋藤純一 支部長> >> 県北

県南支部 <佐川博文 支部長> >> 県南

会津支部 <福島健一 支部長> >> 会津

いわき支部 <大槻成志 支部長> >> いわき

相双支部 <駒木根脩宏 支部長> >> 相双

・福島高校校長

・安積高校校長

・会津高校校長

・磐城高校校長

・原町高校校長

3、教育財政の確立をはかる運動

1. 県議団への要請（9月9日（火））

福島高教組は、次年度県予算の編成期にあたり、福島県議会県民連合議員会、公明党福島県議会議員団、日本共産党福島県議会議員団、自由民主党福島県議会議員会に対して要請を行いました。福島高教組からは、福島健一会津支部長、原田大輔書記長が赴き、要望事項の趣旨説明を行い、議員からの質問に応じました。

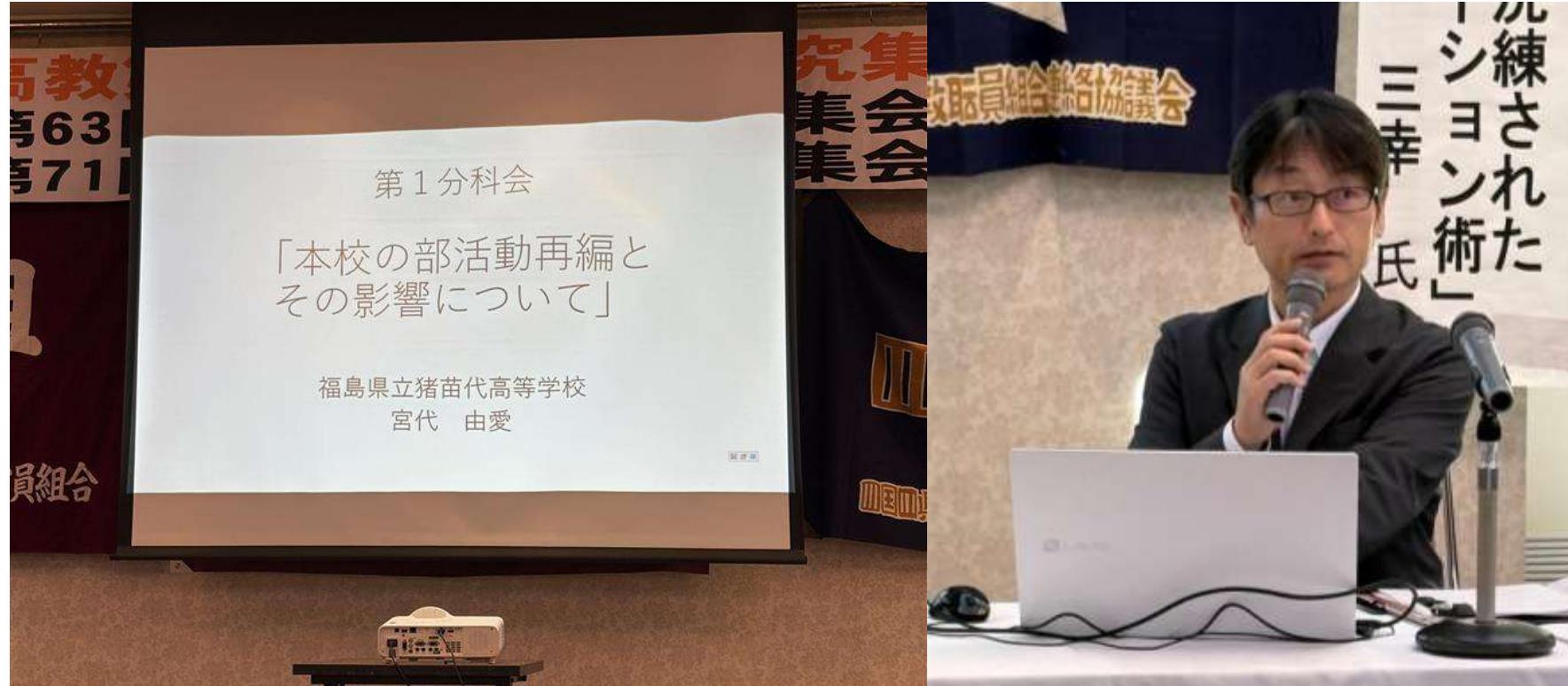
2. 日高教秋季独自要請行動を実施（11月4日（火））

日高教は、次年度政府予算編成期を目前に控え、教育環境の充実、教職員の待遇及び勤務条件等の改善等をめざして、中央委員・中央執行部・各県教財部長を中心とした26名による独自要請行動を実施しました。文科省・総務省・厚労省・財務省・こども家庭庁といった関係各省庁に対し、各県の状況を踏まえた要請を行いました。福島高教組からは、小桧山淳執行委員長、由田桂一副執行委員長、原田大輔書記長、横田聰史（須賀川創英館）が参加しました。

4、教育文化の向上をはかる運動

1. 日高教第71次全国教育研究集会への参加（11月23日（日））

愛媛県で開催された全国教研に猪苗代高校の宮代由愛先生が参加し福島県代表として発表しました。



2. 日高教教文部長会議へ参加（11月23日（日））

日高教は、日高教第71次全国教育研究集会終了後に同会場にて第3回教文部長会議を開催しました。主な議題として、今年度の全国教研の反省および次年度の全国教研について協議がなされました。福島高教組からは、教文部長の原田大輔書記長が参加しました。

3. 栃木高教組2025年度教育研究集会へ参加（11月15日（土））

勿来高校の清水堅香子先生が福島県代表として参加し発表しました。



5、福利厚生の充実をはかる運動

1. 共済・ろうきん利用推進に向けた取り組みの実施（6月7日（土））

福島高教組は、定期大会や定期中央委員会といった機関会議に、こくみん共済coop福島推進本部、東北労働金庫福島県本部の方々を来賓としてお招きし、組合員に共済やろうきんの利用促進についてのお話をいただく機会を設けています。。

2. 分会説明会の開催（11月～12月）

福島高教組は、セット共済（団体生命共済）の契約更新手続きの時期に、各分会でこくみん共済coop、東北ろうきんの説明会を開催するよう呼びかけました。